

2011 年度前期社会経済学初級 α 第 2 回小テスト

I 「コメ」 1kg を生産するために直接間接に必要な労働は $1/2$ 時間、「タマゴ」 10 個を生産するために直接間接に必要な労働は $1/3$ 時間であるとする。このとき、次の問いに答えよ。

A 単純商品社会の長期均衡においては、「コメ」 2kg は「タマゴ」何個の交換価値に値するか。

B 単純商品社会の長期均衡においては、「コメ」 1kg の価格が 600 円ならば、「タマゴ」 10 個の価格は何円か。

C 「タマゴ」の労働生産性が 2 倍になったら、単純商品社会の長期均衡においては、「コメ」 2kg は「タマゴ」何個の交換価値に値するか。

II 次の各ケースの、資本主義経済における年利潤率を計算せよ。ただし、減価償却費の計算は、最も単純な時間平均とする。利潤率は%表示で。

A 固定資本なし。回転期間 1 年。流動不変資本 100 億円。賃金 20 億円。1 回転あたり販売される生産額 132 億円。賃金・流動不変資本はともに前払い。

B 固定資本なし。回転期間 1 年。流動不変資本 100 億円。賃金 20 億円。1 回転あたり販売される生産額 132 億円。賃金後払い。流動不変資本は前払い。

C 固定資本なし。回転期間 $1/2$ 年。流動不変資本 100 億円。賃金 20 億円。1 回転あたり販売される生産額 132 億円。賃金・流動不変資本はともに前払い。

D 固定資本なし。回転期間 $1/2$ 年。流動不変資本 100 億円。賃金 20 億円。1 回転あたり販売される生産額 132 億円。賃金後払い。流動不変資本は前払い。

E 固定資本の耐用年数 10 年。回転期間 1 年。固定資本 100 億円。流動不変資本 20 億円。貸金 15 億円。1 回転あたり販売される生産額 50 億円。貸金・流動不変資本はともに後払い。

F 固定資本の耐用年数 5 年。回転期間 1/4 年。固定資本 100 億円。流動不変資本 10 億円。貸金 10 億円。1 回転あたり販売される生産額 26 億 5 千万円。貸金・流動不変資本はともに前払い。

G 固定資本の耐用年数 5 年。回転期間 1/4 年。固定資本 100 億円。流動不変資本 10 億円。貸金 10 億円。1 回転あたり販売される生産額 26 億円。貸金・流動不変資本はともに後払い。

解答欄

I

A	B	C
30 個	400 円	60 個

II

A	B	C	D	E	F	G
10%	12%	20%	24%	5%	5%	4%

学番 _____

氏名 _____